

事務事業名	ダム湖周辺環境保全事業	所属部	政策企画部	所属課	ダム対策課
政策名	総合計画体系 (Ⅱ)環境に配慮した安全・快適な生活環境づくり《定住環境》	所属G	ダム対策G	課長名	西川 徹
施策名	(05)自然環境・景観の保全	担当者名	福間 央	電話番号(内線)	0854-40-1012 3514
基本事業名	(014)景観の保全と創造	予算科目	会計 款 項 目 中事業 4:0 0:5 0:5 0:5 0:3	ダム湖周辺環境保全事業	

1 現状把握の部

(1)事業概要

①事業期間	②事業の内容(期間限定複数年度事業は全体像を記述)	③開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか?)
<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input type="checkbox"/> 単年度繰返(年度~) <input checked="" type="checkbox"/> 期間限定複数年度(22年度~23年度)	尾原ダム周辺の自然環境、景観を保全し観光客数を増加させるため、付替道路周辺の除草作業、緑地化作業を行った。	尾原ダム完成を間近に控え、尾原ダム周辺の景観保全を図るため、緊急雇用事業を活用し平成22年度に着手

(2)トータルコスト

①事業費の内訳(概要)	事業費	単位	21年度(決算)	22年度(決算)	23年度(決算)	24年度(計画)	25年度(計画)	全体計画
人件費:12,073,000円 需用費:1,309,000円 役務費:99,000円 賃借料:1,759,000円	国庫支出金	千円						
	県支出金	千円		11,356	15,240			26,596
	地方債	千円						
	その他	千円						
	一般財源	千円						
	事業費計(A)	千円	0	11,356	15,240	0	0	26,596
②延べ業務時間の内訳(業務の流れ等)	正規職員従事人数	人		3	3			
臨時職員雇用事務 作業内容・箇所指示	延べ業務時間	時間		555	555			
	人件費計(B)	千円	0	2,158	2,188	0	0	4,346
	トータルコスト(A)+(B)	千円	0	13,514	17,428	0	0	30,942

(3)事務事業の手段・目的・上位目的及び対応する指標

① 主な活動	23年度実績(23年度に行った主な活動)	除草作業	⑤ 活動指標	面積	m <sup>2</sup>	150,000	150,000				
	24年度計画(24年度に計画している主な活動)	除草作業									

② 対象(誰、何を対象にしているのか)	付替道路周辺	⑥ 対象指標	面積	m <sup>2</sup>	150,000	150,000					
	③ 意図(対象がどのような状態になるのか)	荒廃防止	⑦ 成果指標	面積	m <sup>2</sup>	150,000	150,000				
④ 結果(どんな上位目的に結び付けるのか)	自然環境に対する意識を高めてもらい、自然環境保護活動を実践することで、美しい農山村の風景を守る	⑧ 上位成果指標	自然環境保護へ向けて何らかの取り組みをしている市民の割合	%	54.2	57.3	51.2				

(4)事務事業の環境変化、住民意見等

① 事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令等)はどうか変化しているか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか?	② この事務事業に関するこれまでの改革改善の取り組み経緯	③ この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係者等)からどんな意見や要望が寄せられているか?
長期間放置された箇所が整備され、景観保全に対する意識付けのきっかけとなっている。期限付き交付金事業であるため、平成23年で終了。	荒廃防止面積、回数の拡大	観光資源として荒廃防止は必要

事務事業名	ダム湖周辺環境保全事業	所属部	政策企画部	所属課	ダム対策課
-------	-------------	-----	-------	-----	-------

2 評価の部(SEE) \* 原則は事後評価、ただし複数年度事業は途中評価

目的 妥当性 評価	① 政策体系との整合性 この事務事業の目的は市(町)の政策体系に結びつくか? 意図することが結果に結びついているか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている ⇒【理由】↘ ・ダム湖周辺及び付替道路沿いの環境と景観を保全することにより、関係住民、下流域住民のダム湖を中心とした自然環境に対する意識を高めてもらい、美しい農山村の風景を守ることが出来るため、政策体系と一致する。
	② 公共関与の妥当性 なぜこの事業を市(町)が行わなければならないのか? 税金を投入して、達成する目的か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である ⇒【理由】↘ ・ダム事業により発生した広大な土地を管理するには行政の関与が必要である。
	③ 対象・意図の妥当性 対象を限定・追加すべきか? 意図を限定・拡充すべきか?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 適切である ⇒【理由】↘ ・ダム湖周辺を一体とし、景観保全作業を行う事業であるため、限定、追加の余地無し。
有効性 評価	④ 成果の向上余地 成果を向上させる余地はあるか? 成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか? 何が原因で成果向上が期待できないのか?	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】↘ ・事業の実施により成果が得られている。
	⑤ 廃止・休止の成果への影響 事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?	<input type="checkbox"/> 影響無 ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 ⇒【その内容】↘ ・事業地が荒廃し、観光資源として維持できない。
効率性 評価	⑥ 類似事業との統廃合・連携の可能性 目的を達成するには、この事務事業以外他に方法はないか? 類似事業との統廃合ができるか? 類似事業との連携を図ることにより、成果の向上が期待できるか?	<input type="checkbox"/> 他に手段がある ↘ (具体的な手段, 事務事業) <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】↘ ・ダム湖周辺を一体とし、景観保全作業を行う事業であるため、統廃合の余地無し。
	⑦ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できないか? (仕様や工法の適正化、住民の協力など)	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↘ ・当面、この事業を継続し、植栽木の成長を促進し、雑草、葛の成長を抑制できれば事業費の削減は可能と考える。
公平性 評価	⑧ 人件費(延べ業務時間)の削減余地 やり方の工夫で延べ業務時間を削減可能か? 成果を下げずに正職員以外や委託でできないか?	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】↘ ・緊急雇用制度の規定により実務作業は臨時職員で行っている。
	⑨ 受益機会・費用負担の適正化余地 事業内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか? 受益者負担が公平・公正か?	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】↘ ⇒3 今後の方向性・改革改善に反映 <input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】↘ ・ダム湖周辺の環境保全を目的に導入した事業であり、かつ、交付金を活用したものであることから費用負担は公平である。

3 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)(PLAN)

(1) 1次評価者としての評価結果	(2) 全体総括(振り返り、反省点)																						
① 目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ② 有効性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ③ 効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④ 公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	工事期間中、長期に放置された箇所が広範囲のため、本事業着手により成果はあった。																						
(3) 今後の事業の方向性(改革改善案)・・・複数選択可 <input checked="" type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的再設定 <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(有効性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(効率性改善) <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善(公平性改善) <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない)	(4) 改革・改善による期待成果 <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="2">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td></td> <td>低下</td> <td></td> <td>×</td> <td>×</td> </tr> </table> (廃止・休止の場合は記入不要)			コスト			削減	維持	増加	成果	向上				維持			×		低下		×	×
				コスト																			
		削減	維持	増加																			
成果	向上																						
	維持			×																			
	低下		×	×																			
(5) 改革, 改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策																							
手法を検討し、継続的取組が必要																							